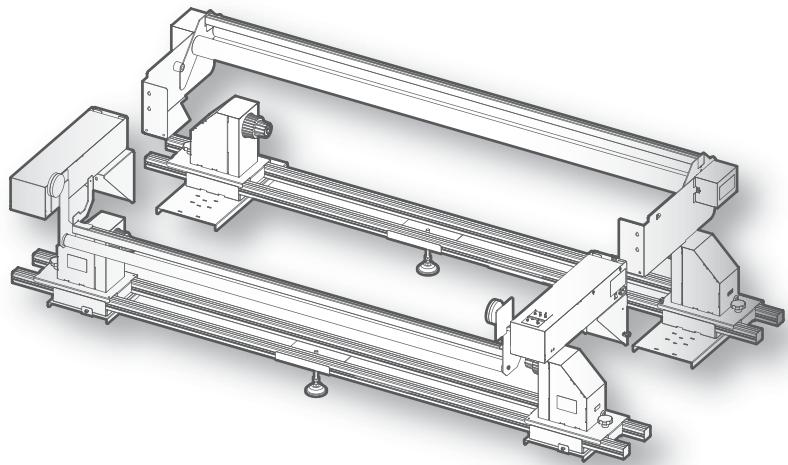


IJ-TUP100-01 重量巻取り装置 100Kg 取扱説明書



| | |
|---------------------|----|
| はじめに | 2 |
| ケーブルの接続 | 5 |
| 電源のオン / オフ | 7 |
| ウェイトの取り付け | 8 |
| メディアのセット | 10 |
| 基本的な使い方 | 27 |
| メンテナンス | 30 |
| トラブルシューティング | 34 |
| 安全にお使いいただくために | 37 |
| オプションリスト | 43 |
| お問い合わせ先 | 43 |
| 改訂履歴 | 43 |

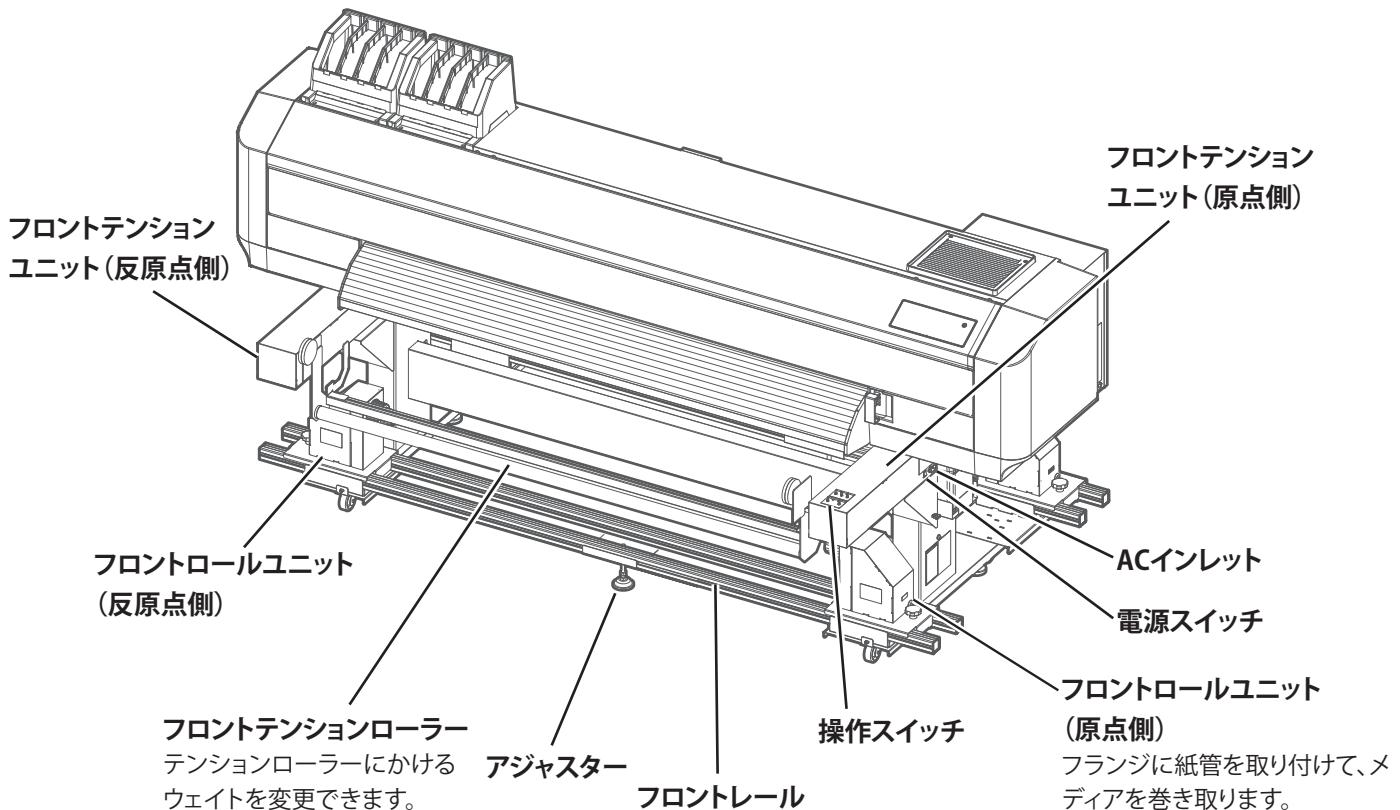
-
- ・本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
 - ・本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
 - ・本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - ・記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

はじめに

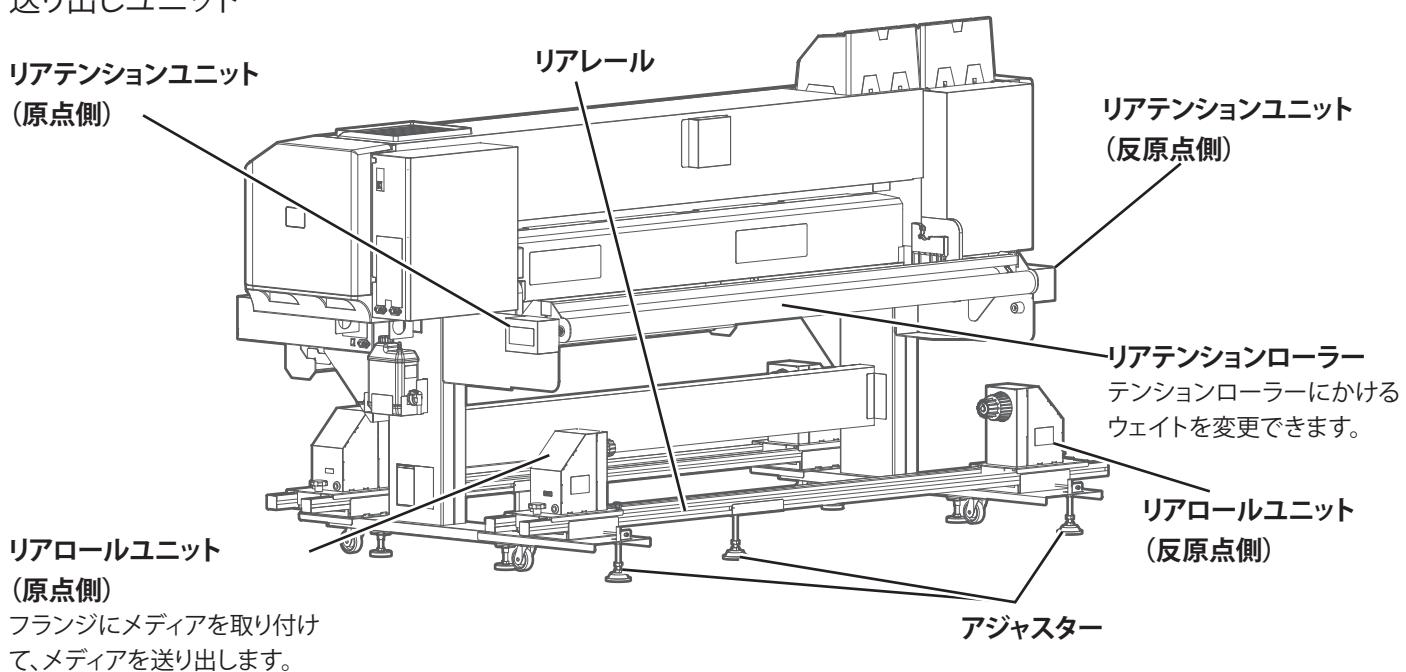
各部の名称

巻き取り装置

巻き取りユニット



送り出しユニット



操作スイッチ（巻き取り装置）

送り出しユニット（リア）側

エラーランプ

赤色に点灯、点滅してエラーを表示します。

① AUTOスイッチ

印刷中の巻き取り装置の動作を設定します。

- OUTSIDE ROLL

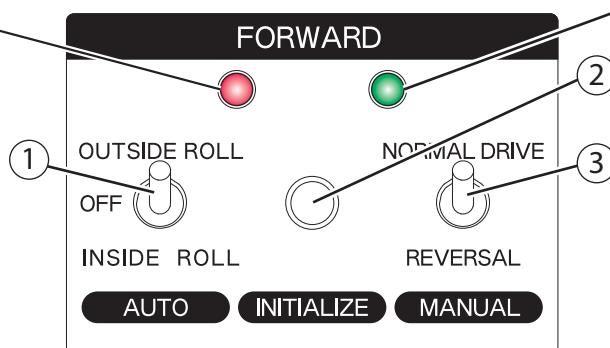
外巻きのメディアを使用するときに設定します。

- OFF

自動で動作しなくなります。

- INSIDE ROLL

内巻きのメディアを使用するときに設定します。



動作ランプ

電源オン時に緑色に点灯します。動作中は点滅します。

③ MANUALスイッチ

スイッチを傾け続けると、送り出しユニットを手動で動かすことができます。

- NORMAL

メディアを送り出します。

- REVERSAL

メディアを巻き取ります。

<注意>

メディアの巻き方と、AUTOスイッチの設定が一致しないと、上記の動作になりません。

巻き取りユニット（フロント）側

エラーランプ

赤色に点灯、点滅してエラーを表示します。

① AUTOスイッチ

メディアの巻き方を設定します。OFF以外に設定すると、印刷に合わせて自動的にメディアの送り出しと巻き取りを行います。

- OUTSIDE ROLL

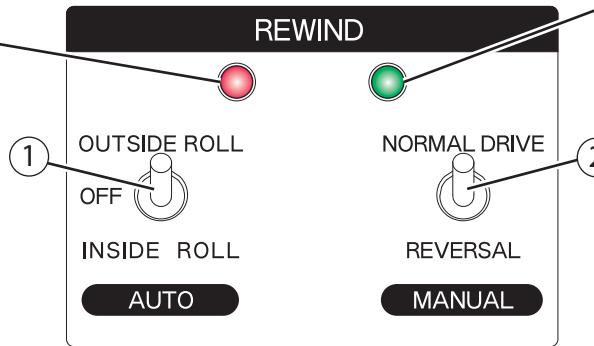
メディアを外巻きで巻き取るときに設定します。

- OFF

自動で動作しなくなります。

- INSIDE ROLL

メディアを内巻きで巻き取るときに設定します。



動作ランプ

電源オン時に緑色に点灯します。動作中は点滅します。

② MANUALスイッチ

スイッチを傾け続けると、巻き取りユニットを手動で動かすことができます。

- NORMAL

メディアを巻き取ります。

- REVERSAL

メディアを送り出します。

<注意>

メディアの巻き方と、AUTOスイッチの設定が一致しないと、上記の動作になりません。

⚠ 注意

以下の部位に手足をのせて体重をかけたり、腰かけるなどといった使用はしないでください。
強い荷重をかけると、部品の変形が生じて、印刷品質に影響を与える恐れがあります。

- ・フロントテンションユニット（原点側、反原点側）
- ・フロントテンションローラー
- ・リアテンションユニット（原点側、反原点側）
- ・リアテンションローラー
- ・フロントロールユニット（原点側、反原点側）
- ・フロントレール
- ・リアロールユニット（原点側、反原点側）
- ・リアレール

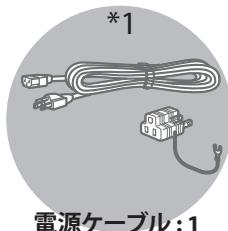
使用環境条件

本製品を使用するときは、プリンタ一本体が正しく動作する条件下で使用してください。

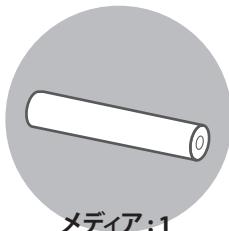
| | |
|----------|---|
| 環境条件 | 動作環境 温度：20 °C～32 °C、湿度：40%～60% 結露なきこと |
| 作画精度保証範囲 | 温度：22 °C～30 °C、湿度：40%～60% 結露なきこと |
| 保存環境 | 温度：-20 °C～60 °C、湿度：40%～80% 結露なきこと |

その他にご用意いただくるもの

本製品を使用するには、プリンタ一本体と同梱品以外に以下のものが需要です。



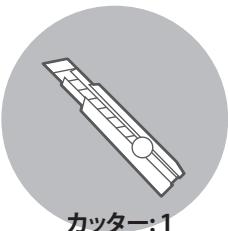
電源ケーブル:1



メディア:1



テープ:1



カッター:1



・*1：オプション品です。



警 告

必ず指定の電源ケーブルを使用してください。
指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。

ケーブルの接続

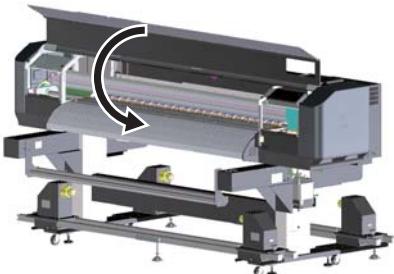
電源ケーブルの接続

警 告

すべての電源ケーブルは、同じ電圧のコンセントに接続してください。
異なる電圧のコンセントに接続した場合、電気回路が破損する恐れがあります。

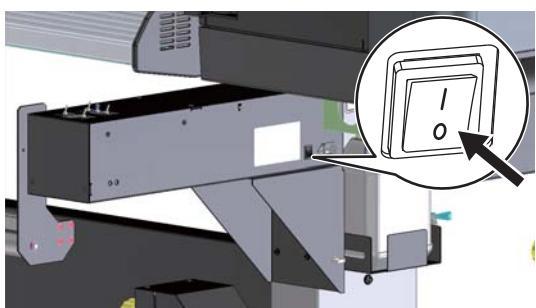
1. ケーブルを接続する前に ...

プリンターのフロントカバーを閉じます。



2. 電源ケーブルの接続

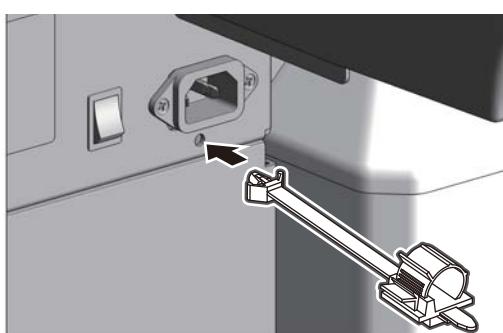
[1] 本製品の電源スイッチがオフになっていることを確認します。



Note

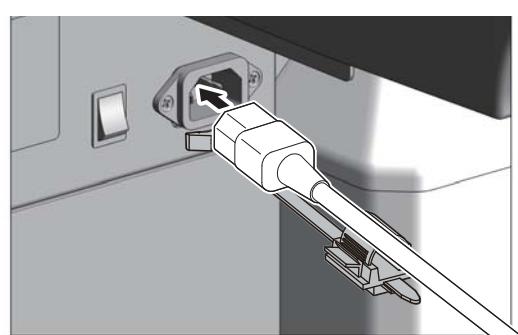
- 本製品の電源スイッチはフロントテンションユニット（原点側）にあります。
- 電源スイッチが「I」の側に倒れているときは、オンになっています。「O」の側に倒して、オフにしてください。

[2]



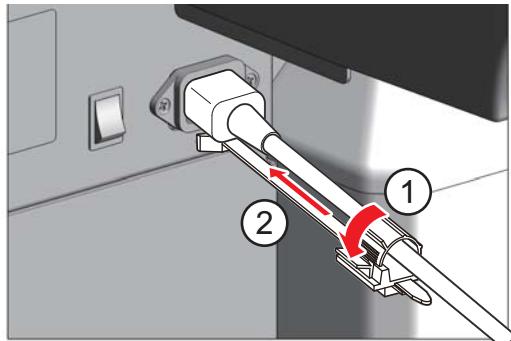
フロントテンションユニット（原点側）に、コードクランプを取り付けます。

[3]



重量巻き取り装置の電源ケーブルを接続します。

[4]



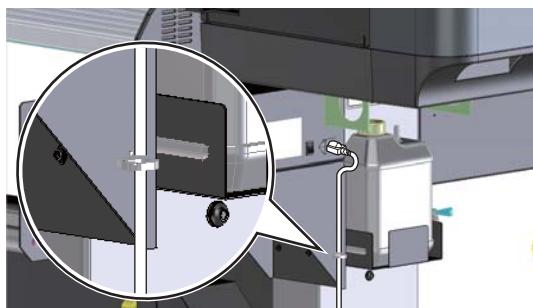
電源ケーブルをコードクランプに固定します。

- ①コードクランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- ②コードクランプをインレット方向にスライドさせてください。

警 告

すべての電源ケーブルは、同じ電圧のコンセントに接続してください。
異なる電圧のコンセントに接続した場合、電気回路が破損する恐れがあります。

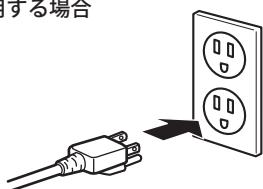
[5]



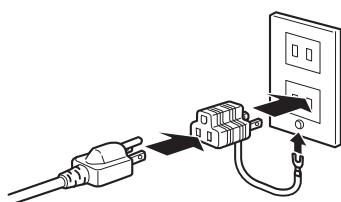
電源ケーブルを下側のクランプに通します。

[6]

3芯プラグを使用する場合



3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合



各電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

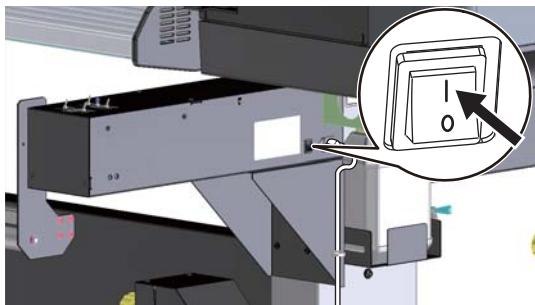
Important!

- ・ケーブルタップを使用しないでください。
- 3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合は、必ずアース線を接続してください。

電源のオン/オフ

電源をオンにする

[1]



本製品の電源スイッチを押します。

- ・緑色のランプが点灯します。

Important!

メディアがセットされている場合、必ずリテンションローラーを初期位置にしてください。
そのまま使用した場合、本製品内部のセンサーが正常に作動せず、メディア送りが正常に動作しません。

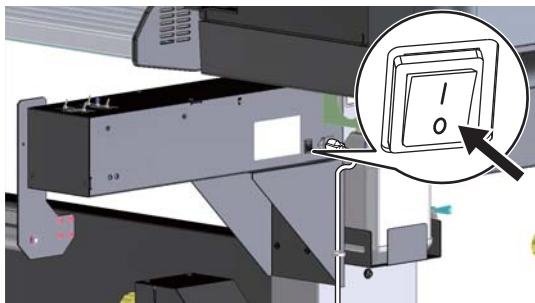
「リテンションローラーを初期位置にする」P. 29

電源をオフにする

[1]

印刷が終わっていることを確認します。

[2]



本製品の電源スイッチを押します。

- ・緑色のランプが消灯します。

ウェイトの取付

メディアをセットする前に、付属の重量巻取り装置用ウェイト（以下ウェイト）を取り付けてください。メディアの種類に合わせてウェイトを取り付けると、メディアの張り具合を補正できます。ウェイトを取付けずに印刷すると、画質が低下することがあります。

Important!

- ・ ウェイトの取付はあくまで推奨であり、画質・搬送精度を保証するものではありません。

メディアの種類によりウェイトの取付け位置が異なります。

☞ 「通常のメディアの場合」P.8

☞ 「クロスメディアの場合」P.9

☞ 「転写紙、ターポリンの場合」P.9

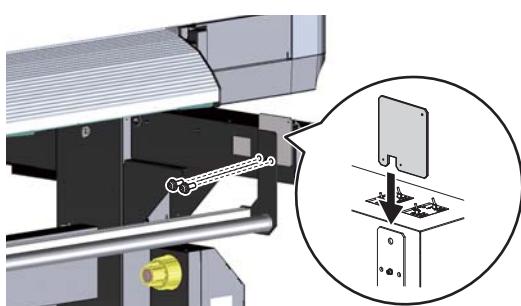
Note

- ・ メディアの張り具合は、メディアの厚みや伸縮性などによっても影響を受けます。画質が低下する場合は、別のメディア種類のウェイト取付け位置を試してみてください。
- ・ 使用できるメディアの種類については、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

通常のメディアの場合

通常のメディア（ポスターペーパー、マーキングフィルムなど）を使用する場合は、下記の手順でウェイトを取付けてください。

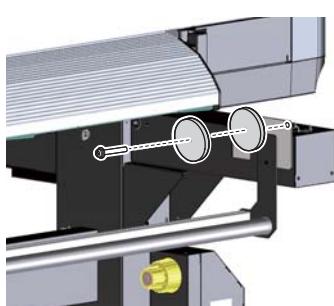
[1]



フロントテンションローラーの原点側にカウンターウェイト取付板をネジ（M3×6：2本）で取付けます。

- ・ カウンターウェイト取付板は、フロントテンションローラーの外側（フロントテンションユニット側）に取付けます。

[2]



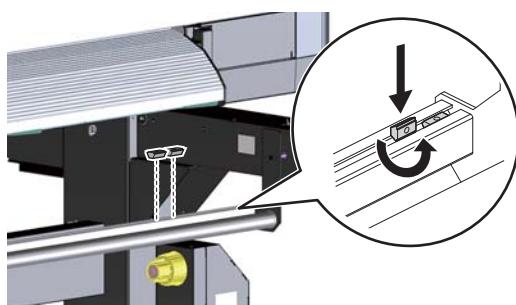
カウンターウェイト取付板に、ウェイト（2個）をネジ（M4×30：1本）で取付けます。

[3] 手順1～2と同様に、ウェイトを反原点側に取付けます。

クロスメディアの場合

クロスメディアを使用する場合は、下記の手順でウェイトを取り付けてください。

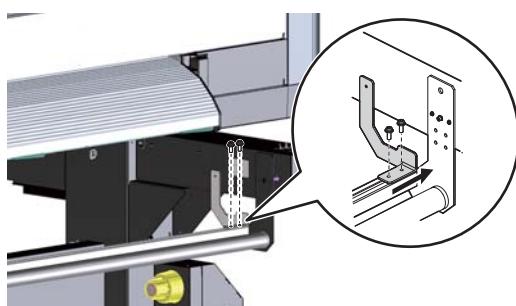
[1]



フロントテンションローラーの原点側に、後入れナット（2個）を取り付けます。

- ・後入れナットをフロントテンションローラーのバランスフレームの溝に差し込みます。
- ・後入れナットをバランスフレーム内で回転させ、ネジ穴を溝方向に向けます。

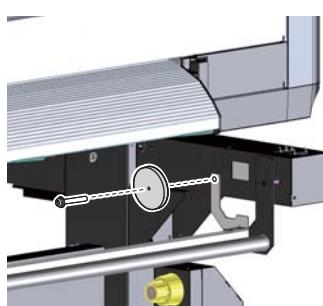
[2]



ウェイト取付板Rをネジ（M4×12：2本）で後入れナットに固定します。

- ・ウェイト取付板Rは、フロントテンションローラーのアーム部分へ、押し当てながら固定してください。

[3]



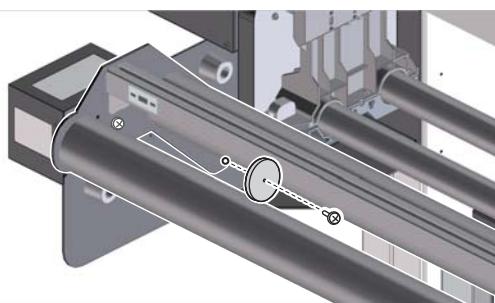
ウェイト取付板Rに、ウェイト（1個）をネジ（M4×16：1本）で取付けます。

[4] 手順1～3と同様に、ウェイト取付板Lとウェイトを反原点側に取付けます。

転写紙、ターポリンの場合

転写紙、ターポリンを使用する場合は、下記の手順でウェイトを取り付けてください。

[1]



リアテンションローラーの原点側に、ウェイト（1個）をネジ（M4×16：1本）で取付けます。

[2] 手順1と同様に、ウェイトを反原点側に取付けます。

Note

- ・転写紙、ターポリンを使用する場合は、フロントテンションローラーにはウェイトを取付けません。

メディアのセット

使用できるメディアの条件

本製品は、以下のメディアを使用することができます。

使用可能サイズ

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| ロールメディア管径 | 50.8 mm (2 inch)、76.2 mm (3 inch) |
| 最大用紙幅 | 1,625 mm |
| 最小用紙幅 | 500 mm |
| ロールメディア外径 | 直徑 250 mm 以下 |
| ロールメディア重量 | 100 kg 以下 |

メディアの巻き方について

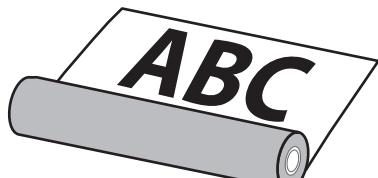
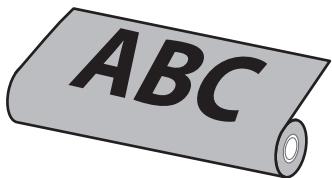
本製品ではメディアの巻き方を以下のように区別しています。

外巻き

印刷面が外側になる巻き方です。

内巻き

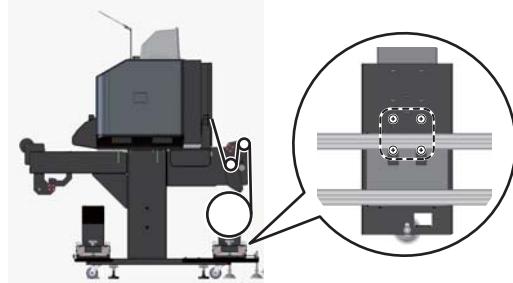
印刷面が内側になる巻き方です。



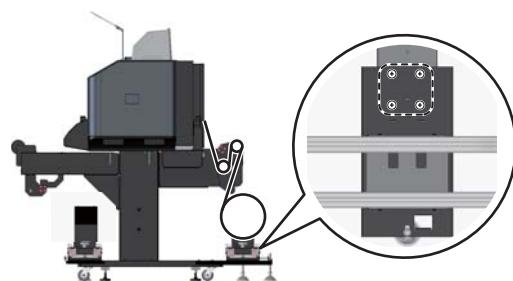
Important!

- 外巻きで使用する場合と内巻きで使用する場合では、送り出しユニットの取り付け位置が異なります。メディアをセットする前に、送り出しユニットの取り付け位置をご確認ください。

- 印字面が外側のメディア（外巻きメディア）を使用する場合



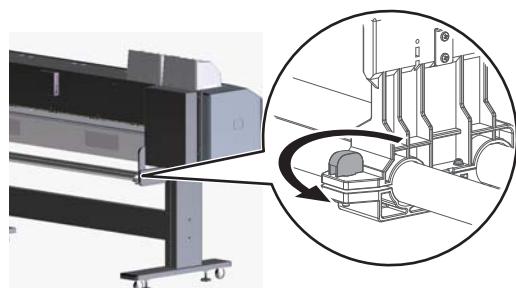
- 印字面が内側のメディア（内巻きメディア）を使用する場合、または印字面が外側のメディア（外巻きメディア）を併用する場合



- 設置後に使用するメディアを外巻きから内巻き、または内巻きから外巻きに変更する場合、リアレールユニットを取り付け直す必要があります。リアレールユニットを取り付け直す場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談のうえ、必ず教育を受けたサービスマンが行ってください。

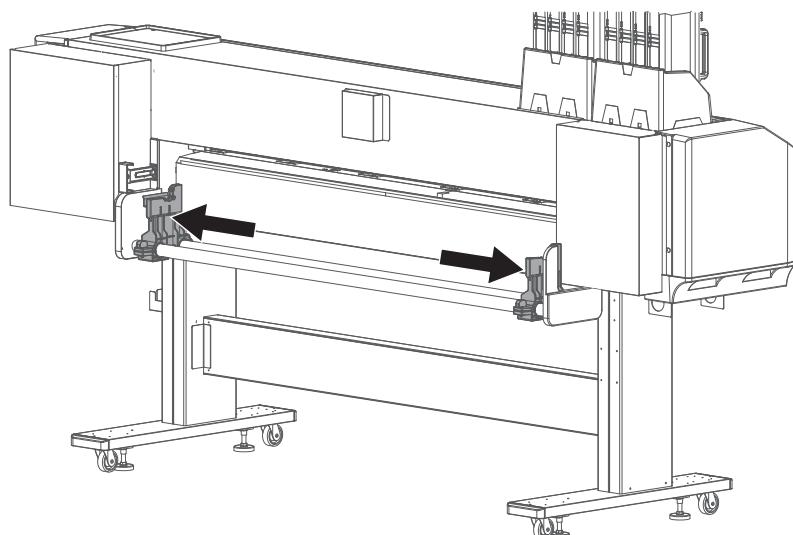
プリンター本体の準備

[1]



左右のロール紙受けのノブボルトを反時計回りに回転させて、緩めます。

[2] 左右のロール紙受けをそれぞれプリンターの端まで動かします。



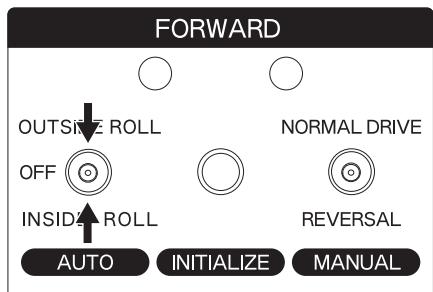
[3] 左右のロール紙受けのノブボルトを締めます。

送り出しユニットにメディアを取り付ける

⚠ 注意

メディアが重い場合は、2人以上で作業してください。

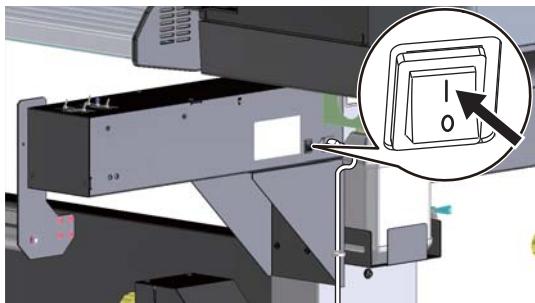
[1]



送り出しユニットの AUTO スイッチが OFF になっていることを確認します。

[2] 本製品の電源がオフであることを確認します。

[3]



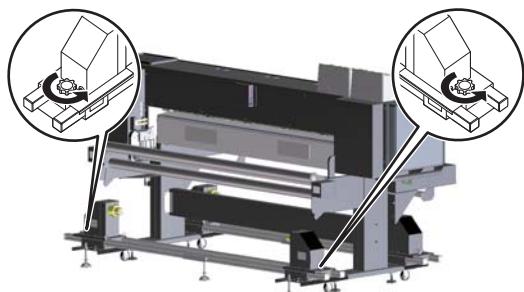
本製品の電源スイッチをオンにします。

Important!

使用前に電源スイッチがオンになっている場合は、一旦電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

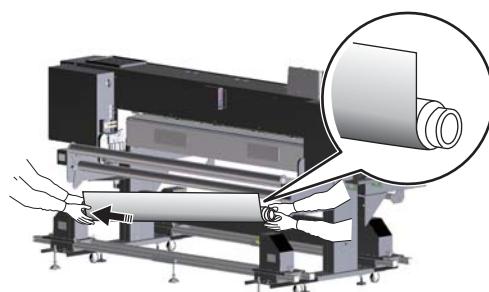
そのまま使用した場合、本製品内部のセンサーが誤作動を起こし、メディア送りが正常に動作しません。

[4]



リアロールユニットのハンドルを緩めます。

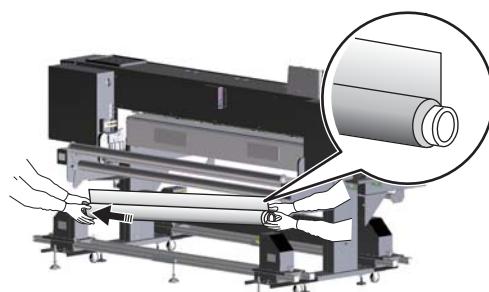
[5]

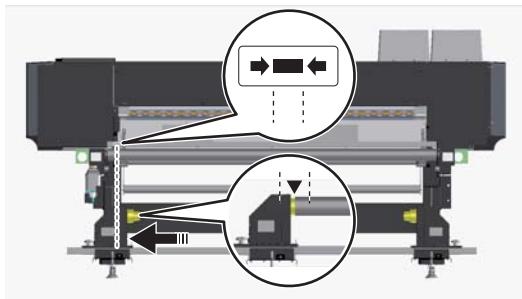


リアロールユニット（原点側）に、ロールメディアを取り付けます。

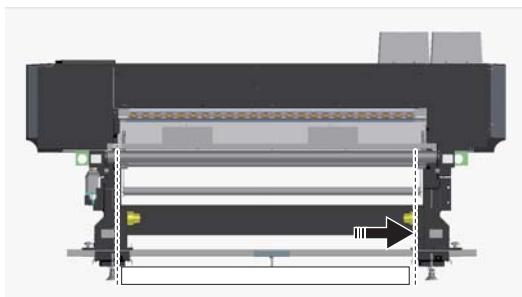
- ・ロールメディアを持上げて、リアロールユニット（原点側）に押し込むように取付けます。
- ・外巻きメディアの場合は、左図のようにします。

・内巻きメディアの場合は、左図のようにします。



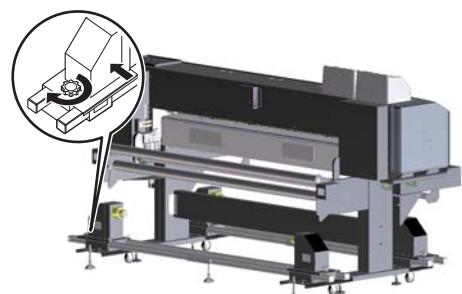


- ・リアロールユニット（原点側）は、リアテンションローラーのバランスフレームに貼付されているラベルが示す範囲（左図の点線で囲った範囲）にロールメディアの左端（左図▼）がおさまるようにリアロールユニットの位置を調整します。



- ・リアロールユニット（反原点側）は、原点側を基準に、ロールメディアの幅より広くなる位置に動かします。

[6]



リアロールユニット（原点側）のハンドルを締めます。

- ・リアロールユニットをプリンター側に押し当てながらハンドルを締め付けます。

[7]



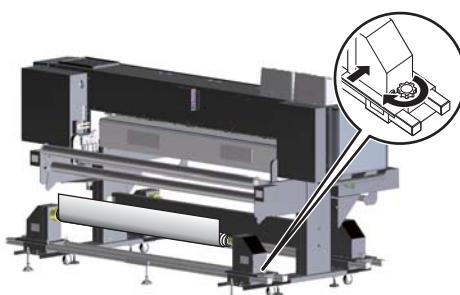
リアロールユニット（反原点側）を動かし、ロールメディアに取り付けます。

- ・リアロールユニット（原点側）に押し込むように取付けます。

Important!

- ・ロールメディアをリアロールユニットのフランジに、しっかりと押し込んでください。押し込みが弱いとロールメディアが空転して、巻き取り装置が正常に動作しない可能性があります。

[8]

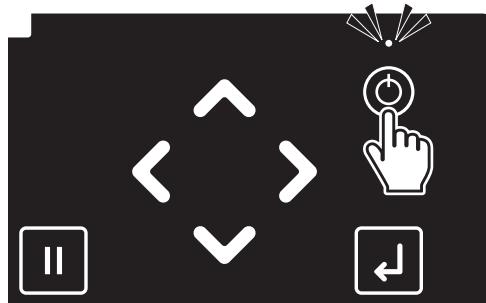


リアロールユニット（反原点側）のハンドルを締めます。

- ・リアロールユニットをプリンター側に押し当てながらハンドルを締め付けます。

メディアを送り出しユニットからプリンターへ通す

[1]



プリンターの電源をオンにします。

- ・プリンターが初期動作を開始します。
- ・操作パネルに「メテ イアナシ」と表示されます。

Note

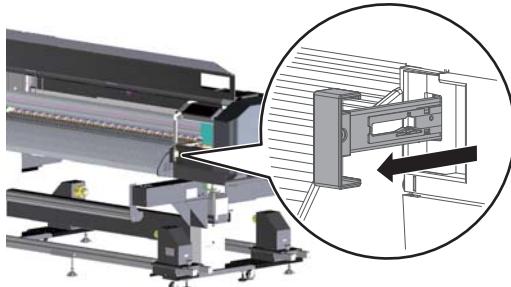
- ・電源ボタン上部のLEDが点灯しているときは、オンになっています。

[2]

プリンターのメニュー設定で、巻取り装置を使用するモードに設定されているかを確認します。

プリンターの取扱説明書

[3]



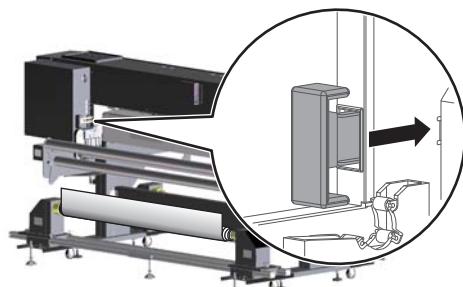
メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げます。

メディアセットレバーは、プリンター背面からも操作可能です。

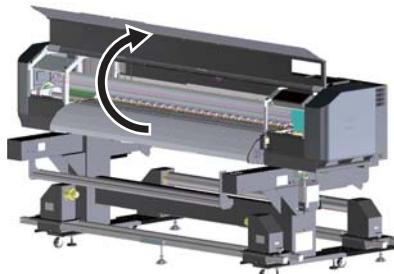
- ・奥に押し込むと、加圧アームが上がります。
- ・手前に引くと、加圧アームが下がります。

Note

- ・メディアセットレバーは、「通常」と「強」の2段階に加圧力を変更できます。一番手前まで引っ張ると「強」になります。

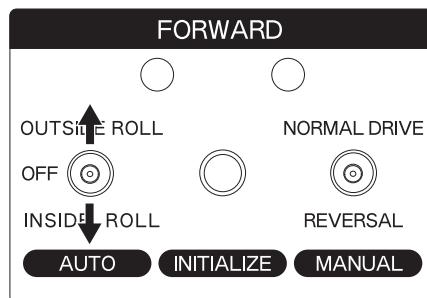


[4]



フロントカバーを開きます。

[5]



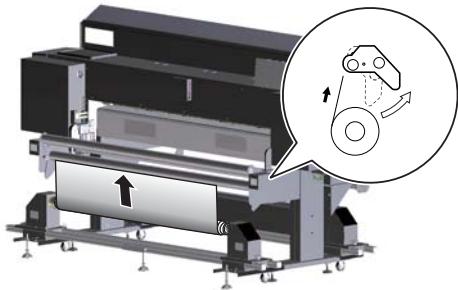
送り出しユニットの AUTO スイッチを、セットするメディアに合わせて切り替えます。

- ・ INSIDE ROLL : 内巻きメディアをセットするとき。
- ・ OUTSIDE ROLL : 外巻きメディアをセットするとき。

Note

- ・内巻きメディアとは、印刷面が内側のメディアを指します。
- ・外巻きメディアとは、印刷面が外側のメディアを指します。

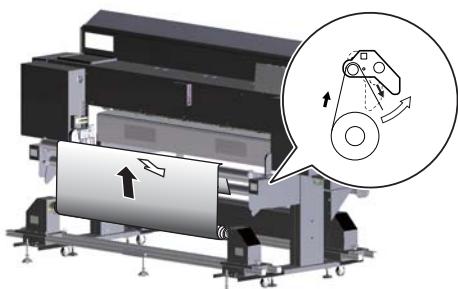
[6]



メディア先端を持ちながら、メディアを送り出します。

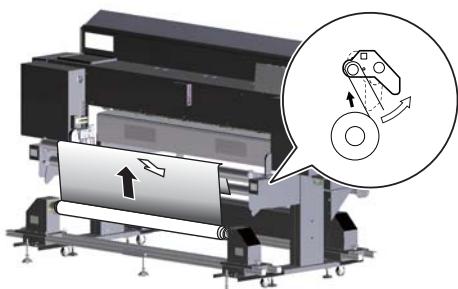
- ・リアテンションローラーを止まる位置まで引き上げると、引き上げている間、メディアが送り出されます。
- ・リアテンションローラーを戻すと送り出しへ止まります。

[7]



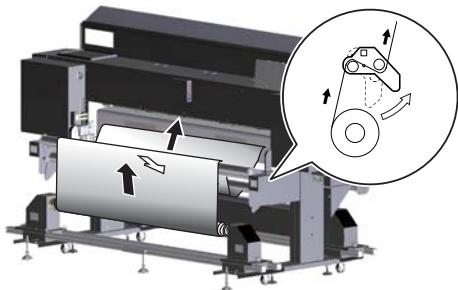
メディアを手前のローラーに上から下に掛けます。

- ・外巻きメディアの場合は、左図のようにします。



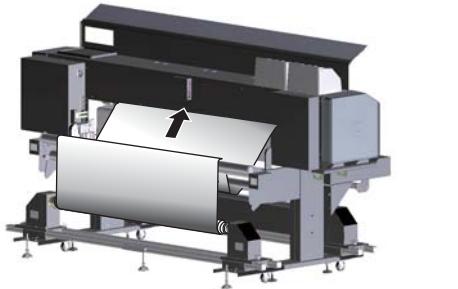
- ・内巻きメディアの場合は、左図のようにします。

[8]



メディアを奥のローラーに下から上に掛けます。

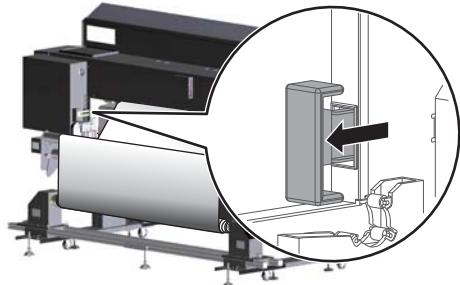
[9]



メディアを給紙スロットに差し込みます。

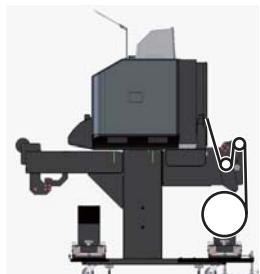
- ・メディア先端が加圧ローラーを通過するまで差し込みます。

[10]



加圧アームを下げて、メディアを仮押さえします。

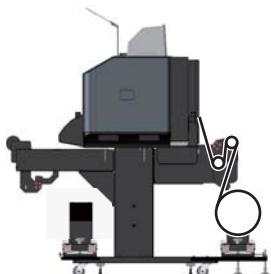
- ・プリンター背面からメディアセットレバーを手前に引きます。



横から見るとメディアは図のようにセットされています。

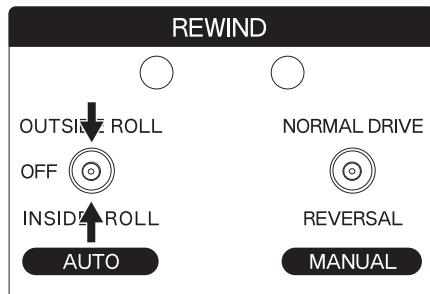
- ・外巻きメディアの場合

・内巻きメディアの場合



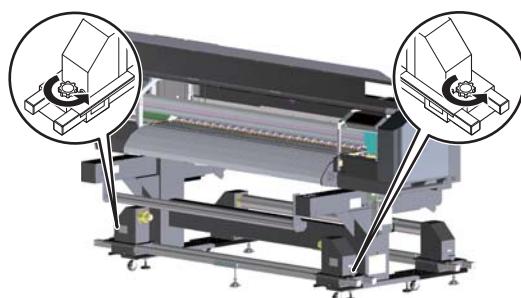
巻き取りユニットに紙管を取り付ける

[1]



プリンター前面に移動し、巻き取りユニットの AUTO スイッチが OFF になっていることを確認します。

[2]



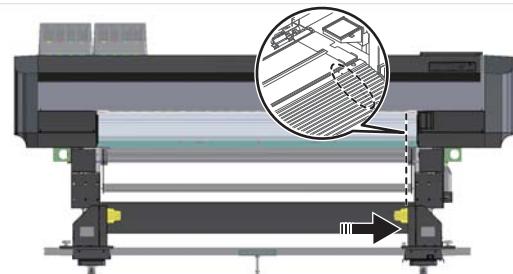
フロントロールユニットのハンドルを緩めます。

[3]



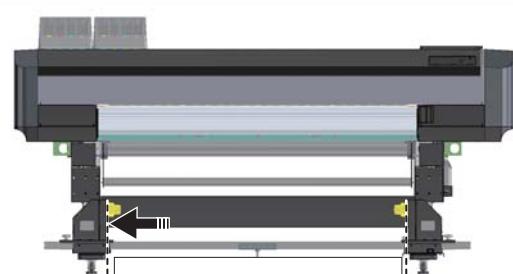
フロントロールユニット（原点側）に、紙管を取り付けます。

- ・紙管を持上げて、フロントロールユニット（原点側）に押し込むように取付けます。



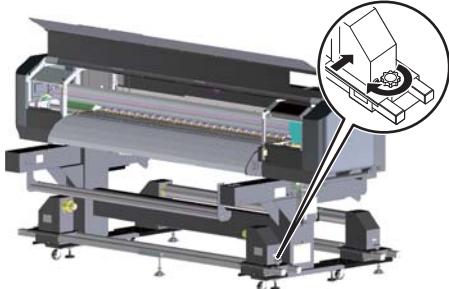
Note

- ・メディアセット目安よりも右側に紙管の右端がある場合、印刷品質に影響する恐れがあります。
- ・送り出しユニットの斜行調整を行う際に、微調整します。



- ・フロントロールユニット（反原点側）は、原点側を基準に、紙管の幅より広くなる位置に動かします。

[4]



フロントロールユニット（原点側）のハンドルを締めます。

- ・フロントロールユニットをプリンター側に押し当てながらハンドルを締め付けます。

[5]



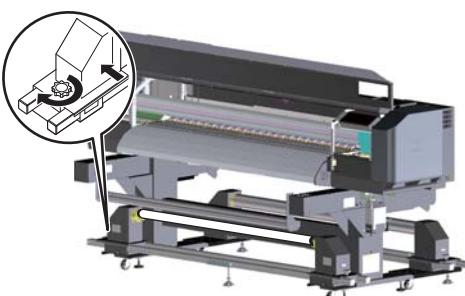
フロントロールユニット（反原点側）を動かし、紙管に取り付けます。

- ・フロントロールユニット（原点側）に押し込むように取付けます。

Important!

- ・紙管をフロントロールユニットのフランジに、しっかりと押し込んでください。押し込みが弱いと紙管が空転して、巻き取り装置が正常に動作しない可能性があります。

[6]



フロントロールユニット（反原点側）のハンドルを締めます。

- ・フロントロールユニットをプリンター側に押し当てながらハンドルを締め付けます。

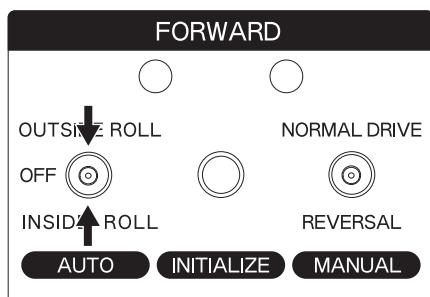
送り出しユニットの斜行調整を行う

巻き取りユニットにメディアを取り付ける前に、送り出しユニット側のメディアのたわみおよび斜行を取除きます。

Important!

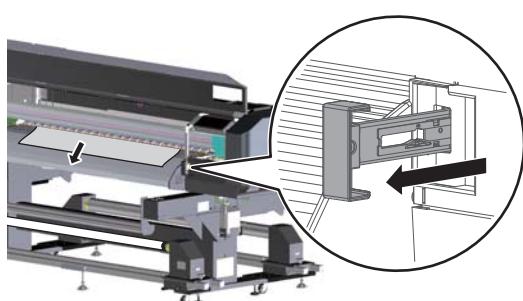
- メディアのたわみおよび斜行が残ったまま印刷をした場合、印刷位置のずれなど、印刷不良の原因となります。

[1]



送り出しユニットの AUTO スイッチを OFF に切り替えます。

[2]



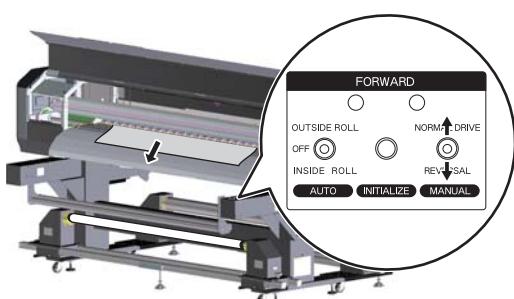
加圧アームを上げて、正面側の給紙スロットからメディアを引き出します。

- メディア先端の中央を持ちながら、プリンター正面からメディアセットレバーを一番手前まで引きます。

Note

- メディア先端を持たずにメディアセットレバーを引くと、メディアが給紙スロットから抜けてプリンター背面側に落ちることがあります。

[3]



送り出しユニットの MANUAL スイッチを、セットしているメディアに合わせて操作して、メディアをさらに 1m ほど引き出します。

- メディアを任意の位置まで送ったら、MANUAL スイッチから手をはなします。

外巻きメディアの場合：

- 「NORMAL DRIVE」側に倒すと、ロールメディアが送り出されます。
- 「REVERSAL」側に倒すと、ロールメディアが巻き戻されます。

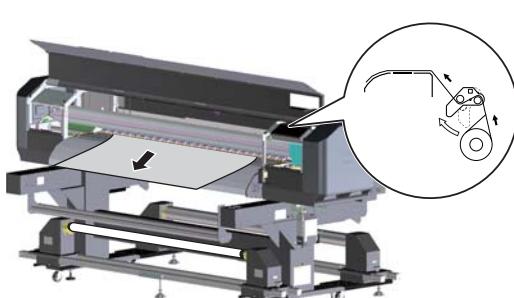
内巻きメディアの場合：

- 「REVERSAL」側に倒すと、ロールメディアが送り出されます。
- 「NORMAL DRIVE」側に倒すと、ロールメディアが巻き戻されます。

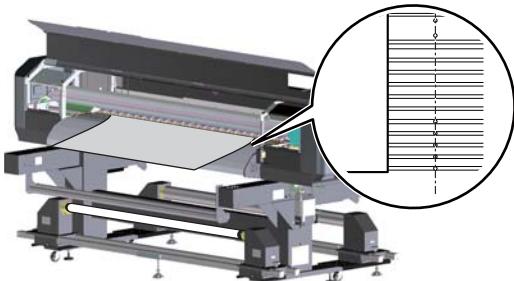
メディアをリアテンションローラーが止まる位置まで引っ張ります。

- メディアの左右の張り具合を確認しながら、左右に均等に力を加えてまっすぐ引っ張ります。

[4]



[5]



メディアを引っ張った状態で、メディアの右端の位置を確認します。

- ・メディアがプリンターのメディアセット目安よりも右側に入っていないことを確認してください。

Note

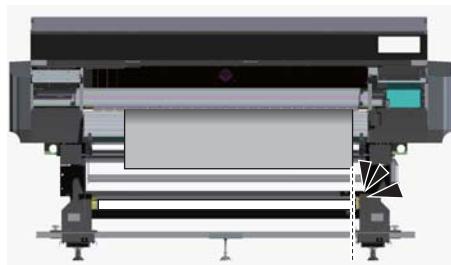
- ・メディアセット目安よりも右側にメディアがある場合、印刷品質に影響する恐れがあります。

メディアを巻き戻し、本製品の電源を入れ直してから、送り出しユニットにメディアを取り付けなおしてください。

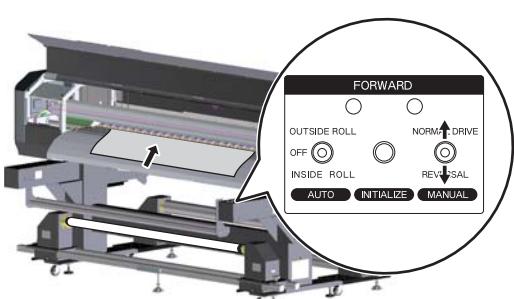
「電源のオン / オフ」P.7

「送り出しユニットにメディアを取り付ける」P.13

- ・メディアの右端と紙管の位置を確認してください。



[6]



メディアの中央を押さえながら、ロールメディアを巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。

外巻きメディアの場合：

- ・送り出しユニットの MANUAL スイッチを「REVERSAL」側に倒すと、ロールメディアが巻き戻されます。

内巻きメディアの場合：

- ・送り出しユニットの MANUAL スイッチを「NORMAL DRIVE」側に倒すと、ロールメディアが巻き戻されます。

Note

- ・メディアを押さえる際は、メディアガイド上で押さえるようにして、プラテンには強い力を加えないようしてください。

- ・ロールメディアの左右が均等に巻き戻されるように調整します。

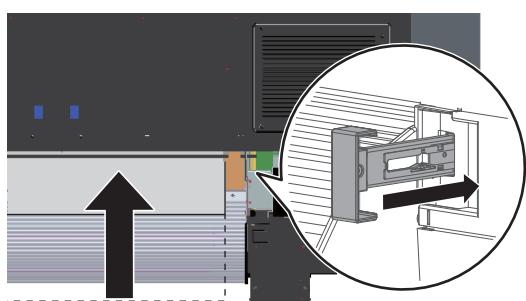
- ・ロールメディアを巻戻している途中でメディアから手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けてプリンター背面側に落ちることがあります。

- ・メディアは、プリンターのメディアガイドの上端を目安に巻き戻してください。

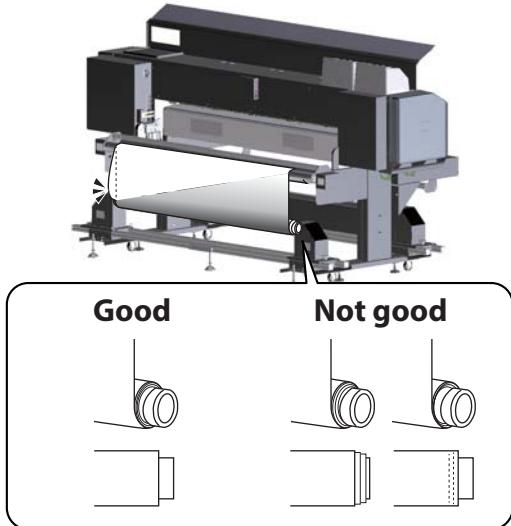
- ・目安まで巻き戻したら、メディアセットレバーを奥に押し込んで、加圧アームを下げます。

Note

- ・メディアを巻き戻す際に、メディアガイドを超えてプラテンまで巻き戻してしまった場合、メディアインシャル時にメディアが認識されない可能性があります。巻き戻し過ぎた場合は、送り出し操作を行って調整してください。



[7]



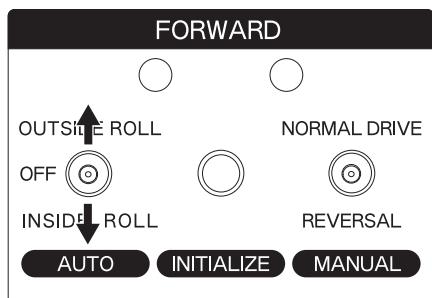
背面から見て、メディアのたわみおよび斜行が解消されているかを確認します。

- 手順 6 で巻き戻したメディアが、ロールメディアの左右に偏りなく巻き戻されているかを確認してください。
- ロールメディアの巻き戻しに偏りがある場合、斜行が発生しています。
- ロールメディアとリアテンションローラーの間のメディアの張り具合が、左右均等であるかを確認してください。
- メディアの張り具合が左右均等でない場合、片側にたわみが発生しています。

Note

- メディアのたわみおよび斜行が発生している場合、手順 1 に戻り、メディアの送り出しからやり直してください。

[8]



メディアのたわみおよび斜行が解消されていることが確認出来たら、送り出しユニットの AUTO スイッチを、セットするメディアに合わせて切り替えます。

- INSIDE ROLL：内巻きメディアをセットするとき。
- OUTSIDE ROLL：外巻きメディアをセットするとき。

Note

- 内巻きメディアとは、印刷面が内側のメディアを指します。
- 外巻きメディアとは、印刷面が外側のメディアを指します。

[9] リアテンションローラーを初期位置にします。

「リヤテンションローラーを初期位置にする」P.29

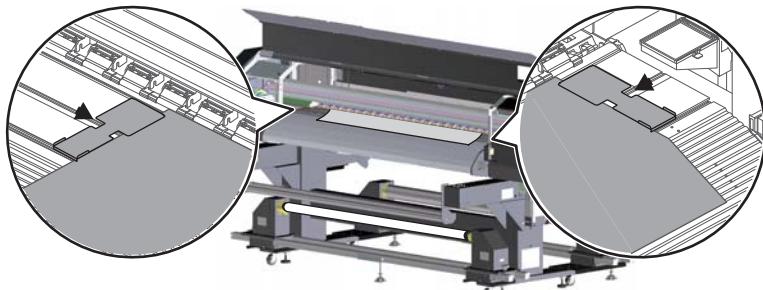
紙管にメディアを取り付ける

[1] メディアの両端にエッジホルダーをセットします。



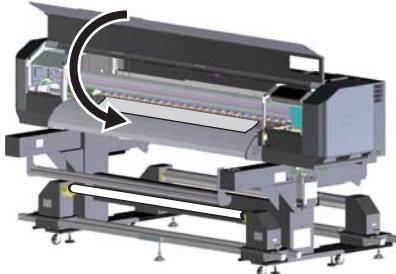
初期設定では、メディアの端から 5 mm の部分から印刷を行います。エッジホルダーとメディアの重なり部分がインクで汚れる恐れがあるため、プリンターの取扱説明書に従ってサイドマージンを 10mm 以上に設定してください。

☞ プリンターの取扱説明書



[2]

フロントカバーを閉じます。



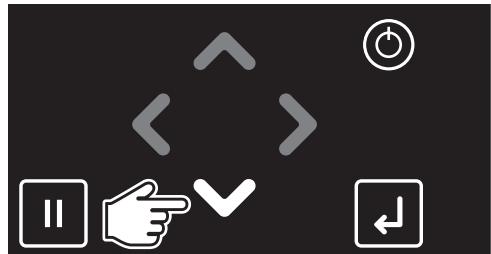
[3]



「ユーザ: Type ** OK?」と表示されます。

- ・ 使用するユーザ定義を、**▲**キー / **▼**キーで選択します。
- ・ [Enter] キーをタップして、メディアイニシャルを実行します。

[4]



ロールメディアを送り出します。

- ・ プリンターの**▼**キーをタップすると、メディアが送り出されます。



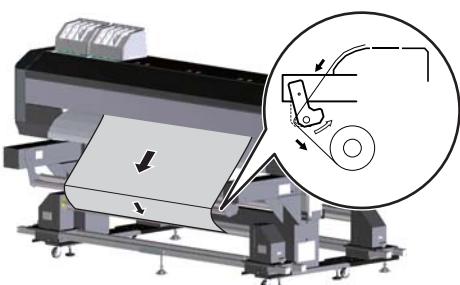
- ・ プリンターの [Cancel] キーをタップするとメディアの先端をカットできます。新しいメディアをセットしたときに、メディアの先端がまっすぐにならない場合は、先端をカットしてください。

☞ プリンターの取扱説明書

- ・ 紙管にメディアを取り付ける際に、メディアの先端がまっすぐにないとい、メディアのたわみおよび斜行が発生し、印刷不良の原因となります。

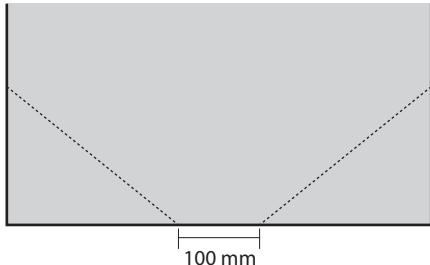
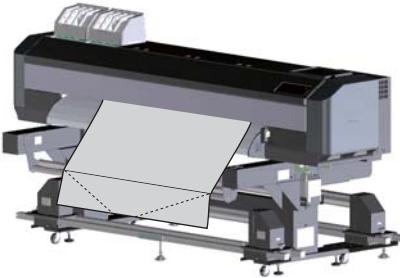
- ・ 左図のように、メディアの先端がフロントテンションローラーを経由して、たるみなく紙管に届くまでメディアを送り出します。このとき、テンションローラーがプリンター側に持ち上がっていることを確認してください。

- ・ メディアを任意の位置まで送ったら、**▼**キーをはなします。
- ・ プリンターの**▲**キーをタップすると、メディアが巻き戻されます。



[5]

メディア先端をカッターなどでカットします。

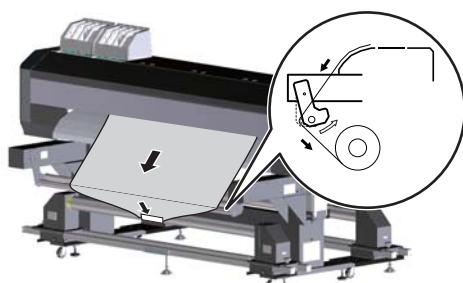


- ・メディア先端の中央を 100mm 程度残して、メディアに対して左右対称になるように斜めにカットします。

 Note

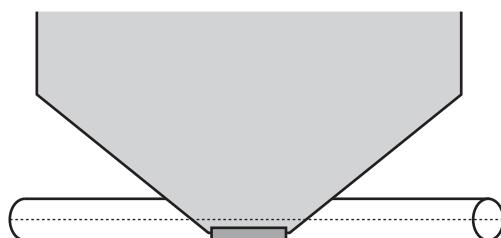
- ・片側をカットしたあとに、切れ端を反対側にあてがってカットすると左右対称にカットできます。

[6]



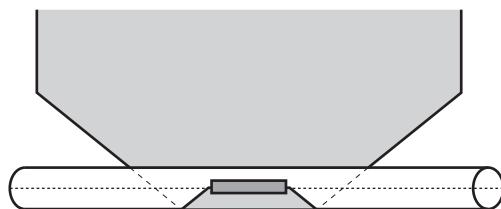
メディアの先端が紙管と平行になるようにテープで固定します。

- ・メディアの先端の左右を持ち、メディアの左右の張り具合を確認しながら、左右に均等に力を加えてまっすぐ引っ張ります。このとき、テンションローラーがプリンター側に持ち上がっていることを確認してください。



外巻きで巻き取る場合：

- ・紙管の下半分側に、メディアをたるませないようにしながらメディアの先端を合わせます。
- ・メディアの先端と紙管が平行になるように合わせてから、テープも平行になるように固定します。



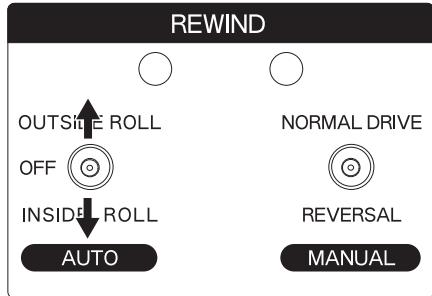
内巻きで巻き取る場合：

- ・紙管の奥側からメディアを通し、メディアをたるませないようにしながら、メディアの先端が手前にくるように合わせます。
- ・メディアの先端と紙管が平行になるように合わせてから、テープも平行になるように固定します。

 Note

- ・内巻きで巻き取る場合、手順 4 で送り出した量より、送り出しが必要になります。プリンターの  キー /  キーをタップして、送り出し量を調整してください。

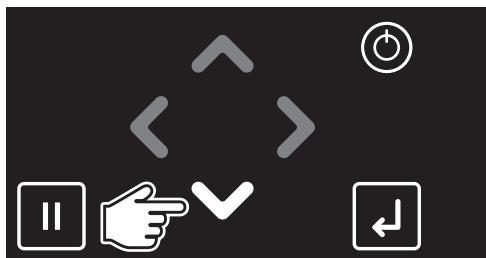
[7]



巻き取りユニットの AUTO スイッチを、巻き取り方に合わせて切り替えます。

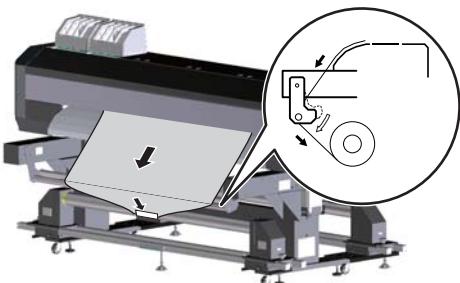
- INSIDE ROLL：内巻きで巻き取るとき。
- OUTSIDE ROLL：外巻きで巻き取るとき。

[8]



ロールメディアを送り出します。

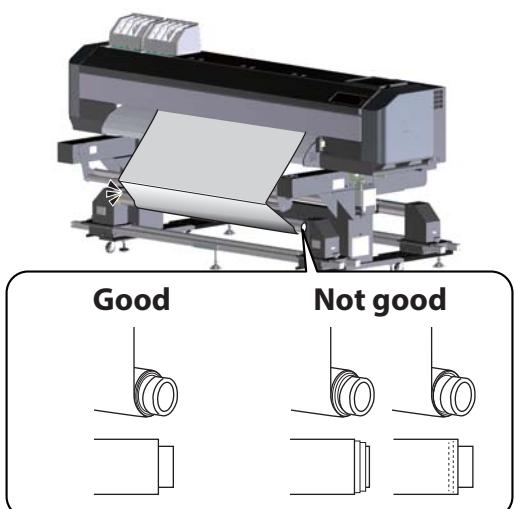
- ・プリンターの✓キーをタップすると、メディアが送り出されます。



- ・巻き取りユニットが作動し、送り出されたメディアが紙管に巻き取られます。

- ・紙管に2～3周、巻き取られるまで、メディアを送り出します。

[9]



紙管を見て、メディアの斜行が発生していないかを確認します。

- ・手順 8 で巻き取ったメディアが、紙管の左右に偏りなく巻き取られているかを確認してください。
紙管の巻き取りに偏りがある場合、斜行が発生しています。
- ・紙管とフロントテンションローラーの間のメディアの張り具合が、左右均等であるかを確認してください。



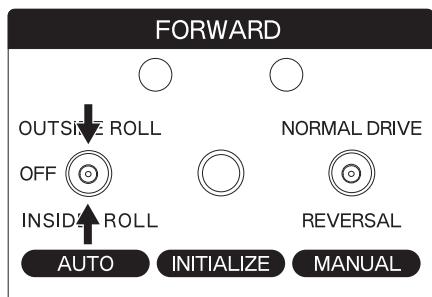
Note

- ・メディアの斜行が発生している場合、手順 6 に戻り、メディアの紙管への固定からやり直してください。

メディアをセットしたら

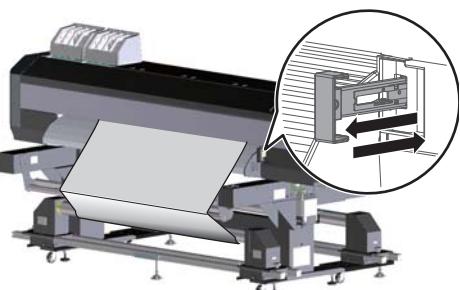
メディアをセットする途中で、メディアイニシャルが行われていますが、以降の手順でメディアの位置がずれている可能性があります。そのためメディアをセットした状態で、再度メディアイニシャルを行う必要があります。

[1]



送り出しユニットの AUTO スイッチを OFF に切り替えます。

[2]



メディアをセットした状態で、メディアの検出を行います。

- ・フロントテンションローラーを支えながら、プリンター正面からメディアセットレバーを引きます。
- その後、メディアセットレバーを元の位置に戻すとメディアイニシャルが行われます。

[3] リアテンションローラーを初期位置にします。

☞ 「リアテンションローラーを初期位置にする」P.29

基本的な使い方

メディアを正しくセットした状態で、メディア送りする場合 (AUTO 操作)

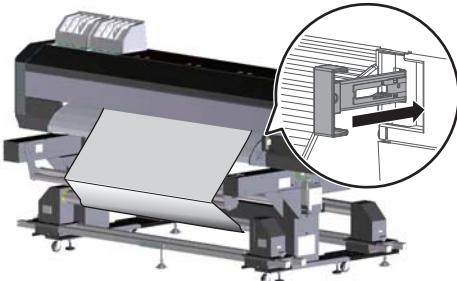
メディアを正しくセットしている場合、プリンターのメディア送りに応じて、本製品の送り出しユニットと巻き取りユニットが作動し、送り出しと巻き取りが自動で行われます。

Important!

MANUAL 操作から、AUTO 操作に切り替えた場合、必ずリアテンションローラーを初期位置にしてください。
そのまま使用した場合、本製品内部のセンサーが正常に作動せず、メディア送りが正常に行われません。

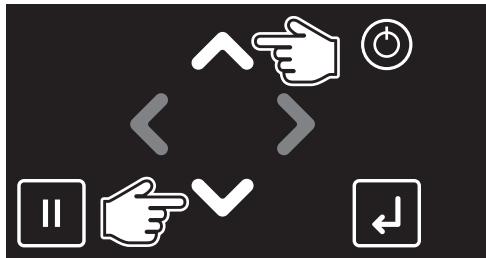
 「リアテンションローラーを初期位置にする」P. 29

[1]



加圧アームが下がっていることを確認します。

[2]



プリンターの  キー、または  キーをタップします。

・  キー：

巻き取りユニットのメディアが、送り出しユニットのロールメディアに向かって送り出されます。

・  キー：

送り出しユニットのロールメディアが、巻き取りユニットの紙管に向かって送り出されます。

[3] メディアを任意の位置まで送ったら、 キー、または  キーをはなします。

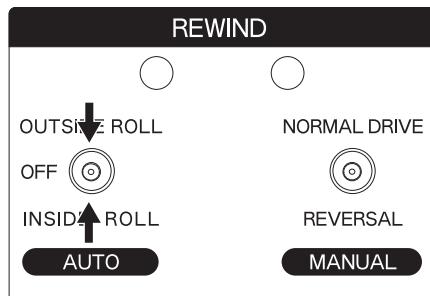
カットしたメディアを手動で紙管に巻き取る場合 (MANUAL 操作)

メディアをカットした場合は、巻き取りユニットを手動で操作して、カットした部分の巻き取りを行います。

- [1] プリンターのメディアカット機能でメディアをカットします。

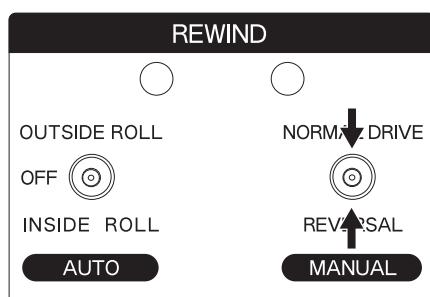
☞ プリンターの取扱説明書

- [2]



巻き取りユニットの AUTO スイッチを OFF に切り替えます。

- [3]



巻き取りユニットの MANUAL スイッチを、セットしているメディアに合わせて操作します。

外巻きで巻き取る場合：

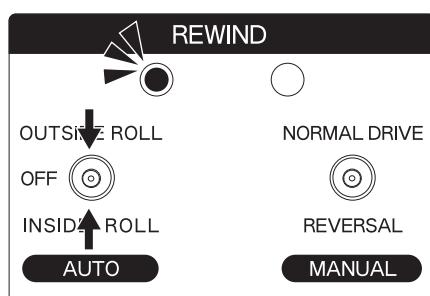
- 「NORMAL DRIVE」側に倒すと、メディアが紙管に巻き取られます。

内巻きで巻き取る場合：

- 「REVERSAL」側に倒すと、メディアが紙管に巻き取られます。

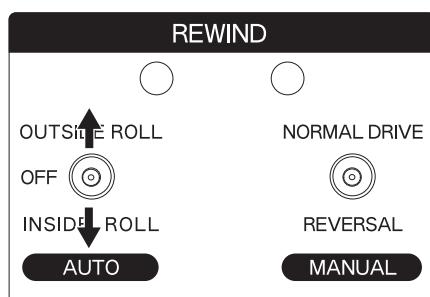
赤いランプが点滅したとき

- [1]



赤いランプが点滅した側の AUTO スイッチを OFF に設定します。

- [2]

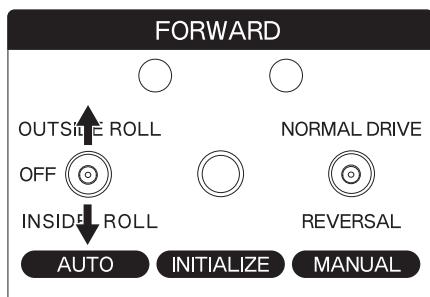


AUTO スイッチを、メディアの巻き方向に合わせて設定します。

リアテンションローラーを初期位置にする

メディアをセットした状態で、電源のオン / オフを切り替えたり、MANUAL 操作でメディア送りをした場合、INITIALIZE スイッチを押して、リアテンションローラーの位置を初期位置にする必要があります。

[1]



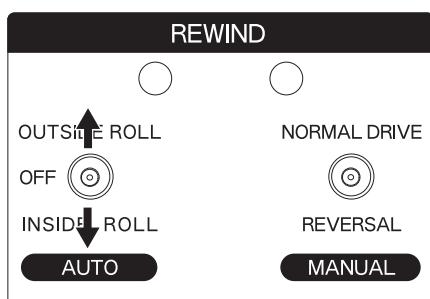
送り出しユニットの AUTO スイッチを、セットしているメディアに合わせて切り替えます。

- INSIDE ROLL：内巻きメディアをセットしているとき。
- OUTSIDE ROLL：外巻きメディアをセットしているとき。

Note

- ・内巻きメディアとは、印刷面が内側のメディアを指します。
- ・外巻きメディアとは、印刷面が外側のメディアを指します。

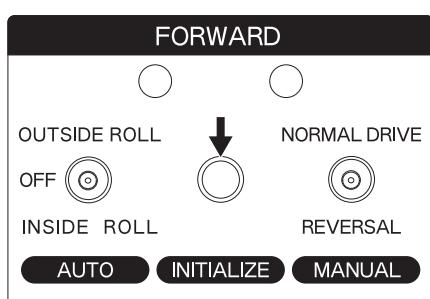
[2]



巻き取りユニットの AUTO スイッチを、巻き取り方に合わせて切り替えます。

- INSIDE ROLL：内巻きで使用するとき。
- OUTSIDE ROLL：外巻きで使用するとき。

[3]



送り出しユニットの INITIALIZE スイッチを押します。

Important!

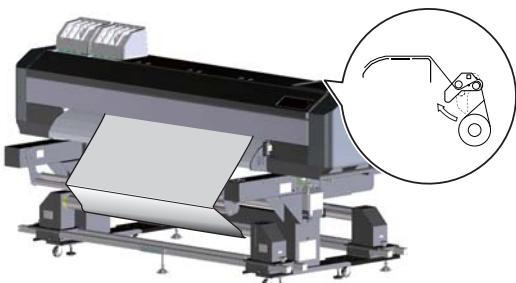
用紙のたわみ・斜行がある状態で INITIALIZE スイッチを押すと、送り出し装置が正常に動作しません。メディアを正しくセットしてから INITIALIZE スイッチを押してください。

☞ 「送り出しユニットの斜行調整を行う」P.20

- ・リアテンションローラーが初期位置に移動します。

Note

- ・INITIALIZE スイッチを押して、リアテンションローラーを初期位置に移動しないと、送り出しが正しく行われません。



メンテナンス

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。

巻き取り装置の清掃

清掃時期：

- ・ インク汚れが見えるとき

必要なもの

エコソルベントインクをお使いの場合：

- ・ エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）
- ・ ペーパータオルまたは柔らかい布

昇華転写インクをお使いの場合：

- ・ 水
- ・ 柔らかい布

▲ 注意

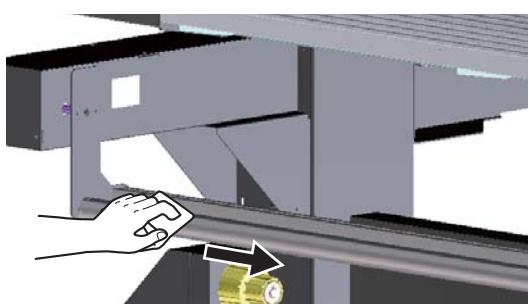
 巻き取り装置の清掃を行うときは、かならず電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

手順

[1] メディアを取り外します。

[2] プリンターと巻き取り装置の電源がオフになっていることを確認します。

[3]



エコソルベントインクをお使いの場合：

- ・ エタノールを少量染み込ませたペーパータオルまたは柔らかい布で、テンションローラーの汚れを取ります。

昇華転写インクをお使いの場合：

- ・ 水を含ませてよく絞った柔らかい布で、テンションローラーの汚れを取ります。

紙粉の除去

清掃時期：

- ・メディアをセットするとき

必要なもの

- ・柔らかい布

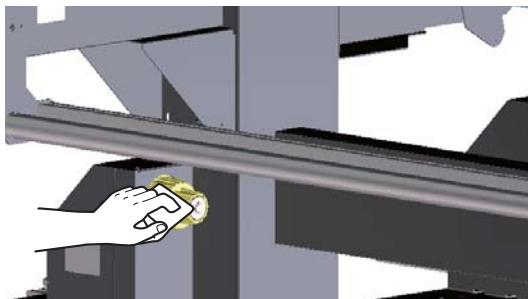
▲ 注意

 紙粉の除去を行うときは、かならず電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

手順

[1] メディアと紙管を取り外します。

[2] プリンターと巻き取り装置の電源がオフになっていることを確認します。

[3]  水を含ませてよく絞った柔らかい布で、フロントロールユニットとリアロールユニットのフランジに付着している紙粉を除去します。

輸送・移動

本製品の輸送、移動方法について説明します。

移動の方法

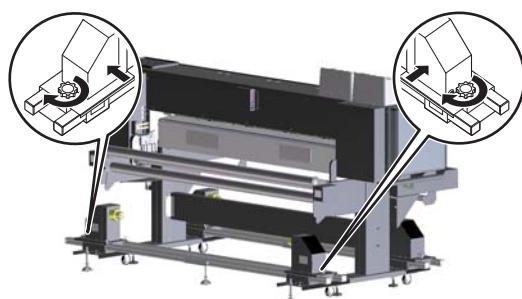
Important!

- ・本製品を移動する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談のうえ、プリンター本体から取り外してから移動してください。
本製品をプリンター本体に取り付けた状態で移動した場合、移動後の正常動作が保証できません。
やむを得ず本製品をプリンターに取り付けた状態で移動する場合は、坂道や悪路を避け、100m 以内を限度としてください。
- ・製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
- ・本製品を傾けたり、上下を逆にしないでください。
プリンター内部のインクが漏れる恐れがあります。

1. 移動前の手順

[1] メディアと紙管を取り外します。

[2]



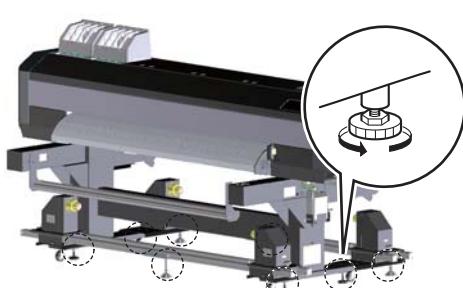
フロントロールユニットとリアロールユニットのハンドルを締めます。

[3] プリンターと巻き取り装置の電源がオフになっていることを確認します。

[4] 廃液タンクを空にします。

[5] 電源ケーブルなどのケーブル類をすべて取り外します。

[6]



専用スタンドのアジャスター（4箇所）と本製品のアジャスター（4箇所）を、反時計回りに回してアジャスターの位置を上げてください。

Note

- ・移動時に、アジャスターが接地しないように、上限の位置までアジャスターを上げてください。

[7]



フロントテンションローラーが移動時に動かないように固定します。

- ・フロントテンションローラーのバランスフレームと、フロントトレールユニットをつなぐようにテープで固定します。

Important!

- ・テープがローラーにかかるないように固定してください。変形によりメディアの搬送が正常にできなくなる恐れがあります。

[8]



リアテンションローラーが移動時に動かないように固定します。

- ・リアテンションローラーのバランスフレームとリアレールユニットをつなぐようにテープで固定します。

Important!

- ・テープがローラーにかかるないように固定してください。変形によりメディアの搬送が正常にできなくなる恐れがあります。

[9] 本製品を移動します。

2. 移動後の手順

[1] 設置に適した場所を確認します。

プリンターの設置要領書

設置要領書

[2] 設置場所に移動後、製品を固定します。

[3] 電源ケーブルなどのケーブル類を取り付けます。

[4] ノズルチェックを行い、目詰まりがないか確認します。

プリンターの取扱説明書

[5] 画質調整を行います。

プリンターの取扱説明書

輸送の方法

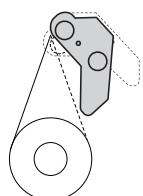
本製品を輸送する場合は、振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

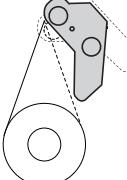
Important!

本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

トラブルシューティング

| 症状 | 要因と対策 |
|----------------------|---|
| 印刷時にまったく動かない | <p>巻き取り装置の電源ケーブルはつながっていますか？</p> <ul style="list-style-type: none">・巻き取り装置の電源ケーブルをつないでください。 <p>☞ 電源ケーブルの接続</p> |
| | <p>巻き取り装置の AUTO スイッチが「OFF」になっていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none">・セットしたメディアの巻き方に合わせて AUTO スイッチを設定してから、INITIALIZE スイッチを押してください。 <p>☞ リアテンションローラーを初期位置にする</p> |
| | <p>巻き取り装置の電源を入れた後に、INITIALIZE スイッチを押し忘れていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none">・セットしたメディアの巻き方に合わせて AUTO スイッチを設定してから、INITIALIZE スイッチを押してください。 <p>☞ リアテンションローラーを初期位置にする</p> |
| | <p>巻き取り装置の電源を入れた後に、電源ケーブルを抜き差ししていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none">・セットしたメディアの巻き方に合わせて AUTO スイッチを設定してから、INITIALIZE スイッチを押してください。 <p>☞ リアテンションローラーを初期位置にする</p> |
| | <p>巻き取り装置のエラーランプが点滅していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none">・エラーランプが点灯した側の AUTO スイッチをいったん「OFF」にします。AUTO スイッチをメディアの巻き方に合わせて設定します。 <p>☞ 赤いランプが点滅したとき</p> |
| | <p>巻き取り装置のエラーランプが点灯していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none">・過電流エラーが発生しています。 本製品の電源を切り、過電流の原因となった負荷を取り除いてから電源を入れなおしてください。 <p>☞ 電源をオフにする</p> <p>☞ 電源をオンにする</p> |
| | <p>巻き取り装置の AUTO スイッチをセットしたメディアの巻き方に合わせて設定してから、MANUAL スイッチを操作しましたか？</p> <ul style="list-style-type: none">・INITIALIZE スイッチを押してください。 <p>☞ リアテンションローラーを初期位置にする</p> |
| メディアセット時にメディアが巻き取られる | <p>メディアセット時、リアテンションローラーが初期位置より低い位置（下図）にあってもモーターが停止しない場合は、一旦電源をオフにし、再度電源をオンにしてからメディアをセットしてください。</p> <p>☞ 送り出しユニットにメディアを取り付ける</p> |



| 症状 | 要因と対策 |
|----------------------------|--|
| メディアをうまく搬送できない / 巻き取れない | <p>巻き取り装置の AUTO スイッチが「OFF」になっていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> セットしたメディアの巻き方に合わせて AUTO スイッチを設定してから、INITIALIZE スイッチを押してください。 <p>☞ リテンションローラーを初期位置にする</p> |
| | <p>巻き取り装置の電源を入れた後に、INITIALIZE スイッチを押し忘れていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> セットしたメディアの巻き方に合わせて AUTO スイッチを設定してから、INITIALIZE スイッチを押してください。 <p>☞ リテンションローラーを初期位置にする</p> |
| | <p>巻き取り装置の電源を入れた後に、電源ケーブルを抜き差ししていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> セットしたメディアの巻き方に合わせて AUTO スイッチを設定してから、INITIALIZE スイッチを押してください。 <p>☞ リテンションローラーを初期位置にする</p> |
| | <p>メディアを正しくセットしていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> メディアを正しくセットしてください。 <p>☞ 送り出しユニットにメディアを取り付ける</p> <p>☞ メディアを送り出しユニットからプリンターへ通す</p> <p>☞ 送り出しユニットの斜行調整を行う</p> <p>☞ 紙管にメディアを取り付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の場合は、メディアのたわみや斜行を取り除いてください。それでも改善しない場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にお問い合わせください。 メディアセット時、リテンションローラーが初期位置より低い位置（下図）にあっても、送り出し動作が停止せずに継続する 印刷時（INITIALIZE スイッチ押下後）、リテンションローラーが初期位置より低い位置（下図）にあっても巻き戻しせずに送り出し動作が継続する |
| |  |
| | <p>巻き取り装置のフロントレールとリアレールが、それぞれプリンターに対して平行になっていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 経路長の調整を行ってください。 <p>経路長の調整は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談のうえ、必ず教育を受けたサービスマンが行ってください。</p> |

| 症状 | 要因と対策 |
|-------------------|--|
| 巻き取ったメディアにシワが発生する | <p>メディアを正しくセットしていますか？</p> <ul style="list-style-type: none">・メディアを正しくセットしてください。 <p>☞ 送り出しユニットにメディアを取り付ける</p> <p>☞ メディアを送り出しユニットからプリンターへ通す</p> <p>☞ 送り出しユニットの斜行調整を行う</p> <p>☞ 紙管にメディアを取り付ける</p> |
| | <p>巻き取り装置のフロントレールとリアレールが、それぞれプリンターに対して平行になっていますか？</p> <ul style="list-style-type: none">・経路長の調整を行ってください。 <p>経路長の調整は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談のうえ、必ず教育を受けたサービスマンが行ってください。</p> |

安全にお使いいただくために

大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。

もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- ・受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- ・本製品の使用方向を変えてみる
- ・受信機と本製品の距離を変えてみる
- ・本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

安全表示について

警告と注意の意味

| | |
|---|--|
|  警 告 | 回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。 |
|  注 意 | 回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。 |

警告記号の意味

| 警告記号 | 意味 |
|---|---------------------------|
|  | この表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

Note

安全表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「はじめに」をご覧ください。

感電・ショート・火災について

!**警 告**

 湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。
感電・火災の恐れがあります。

 破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因になります。

 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

 以下の場所には、アース線を接続しないでください。

- ・ガス管
引火や爆発する恐れがあります。
- ・電話線用アース線および避雷針
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
- ・水道管および蛇口
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

 通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

 異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。

 毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。

 電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。

- ・電源ケーブルを加工しないこと。
- ・電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
- ・電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
- ・電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。

 電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。

- ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。

 必ず指定の電源を使用してください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

 電源コンセントから直接電源を取ってください。
タコ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。

 電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。

 アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片を深さ 650mm 以上の中埋めアース線
- ・D種接地工事を行っている接地端子

 必ず指定の電源ケーブルを使用してください。

- ・指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。

指定の電源ケーブルについては、販売店までお問い合わせください。

- ・電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。
- ・電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。

 各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。
配線を誤ると、火災の恐れがあります。

 ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。
感電または故障する恐れがあります。

 本製品を長期間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 本製品内部に水気が入らないように注意してください。
電気回路がショートする恐れがあります。

設置について

⚠ 警告



本製品を以下の場所には設置しないでください。

転倒・転落により、けがをする恐れがあります。

- ・ぐらついた台の上
- ・傾いている場所
- ・他の機械等の振動が伝わる場所

⚠ 注意



本製品を開梱または移動する場合は、必ず2人以上

で作業してください。



この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



本製品は水平の状態を保ったまま移動してください。

取り扱いについて

⚠ 警告



本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。

転倒・転落によりけがをする恐れがあります。

⚠ 注意



シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。

塗装を傷める原因となります。

保管について

⚠ 警告



本製品を以下のような場所に保管しないでください。

製品が頭上に落下したり、踏みつけて転倒する恐れがあります。

- ・不安定な台、または高さのある台の上
- ・傾いている場所
- ・人通りがある床の上

⚠ 注意



本製品を以下のような場所に保管しないでください。

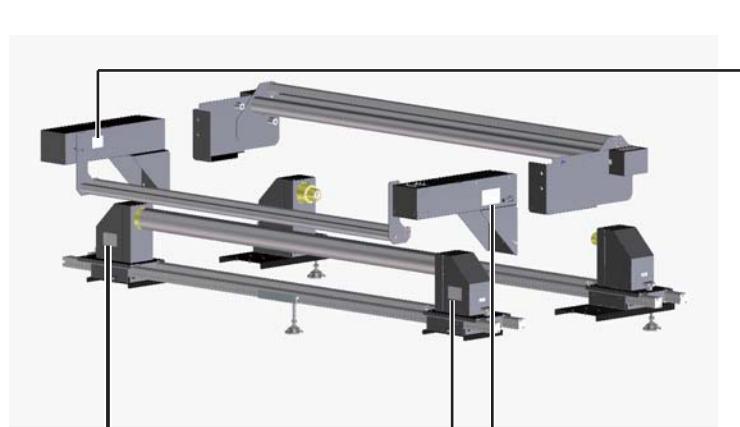
製品が破損し、使用できなくなります。

- ・高温・多湿、直射日光があたる場所
- ・ホコリの多い場所
- ・他の機械等の振動が伝わる場所

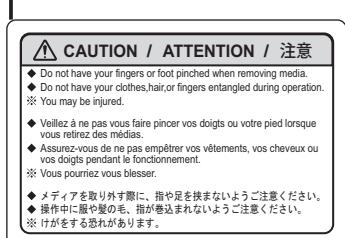
警告ラベルについて

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、必ずお守りください。

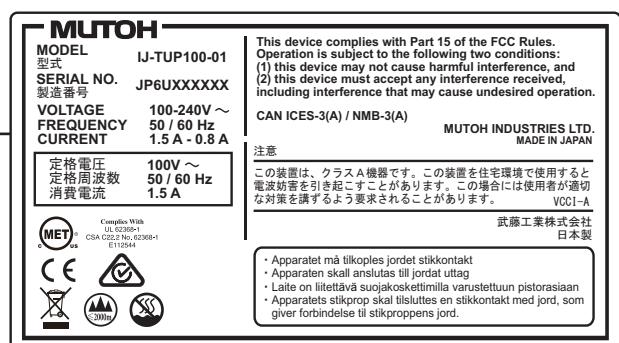
ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。



可動部注意ラベル
可動部に身体を近づけないでください。

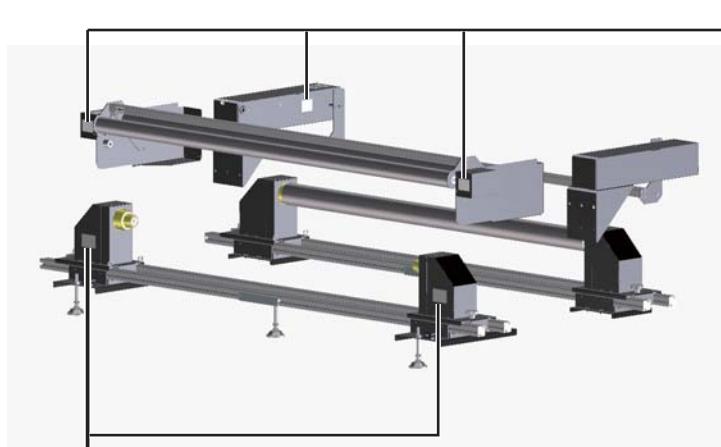


巻きこみ注意ラベル

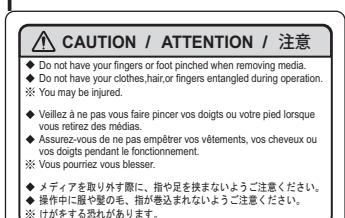


定格銘版

定格電圧表示の"~"マークは交流電圧記号です。
以下の警告マークは中国向け製品に適用される高地・熱帯地域
使用制限警告です。



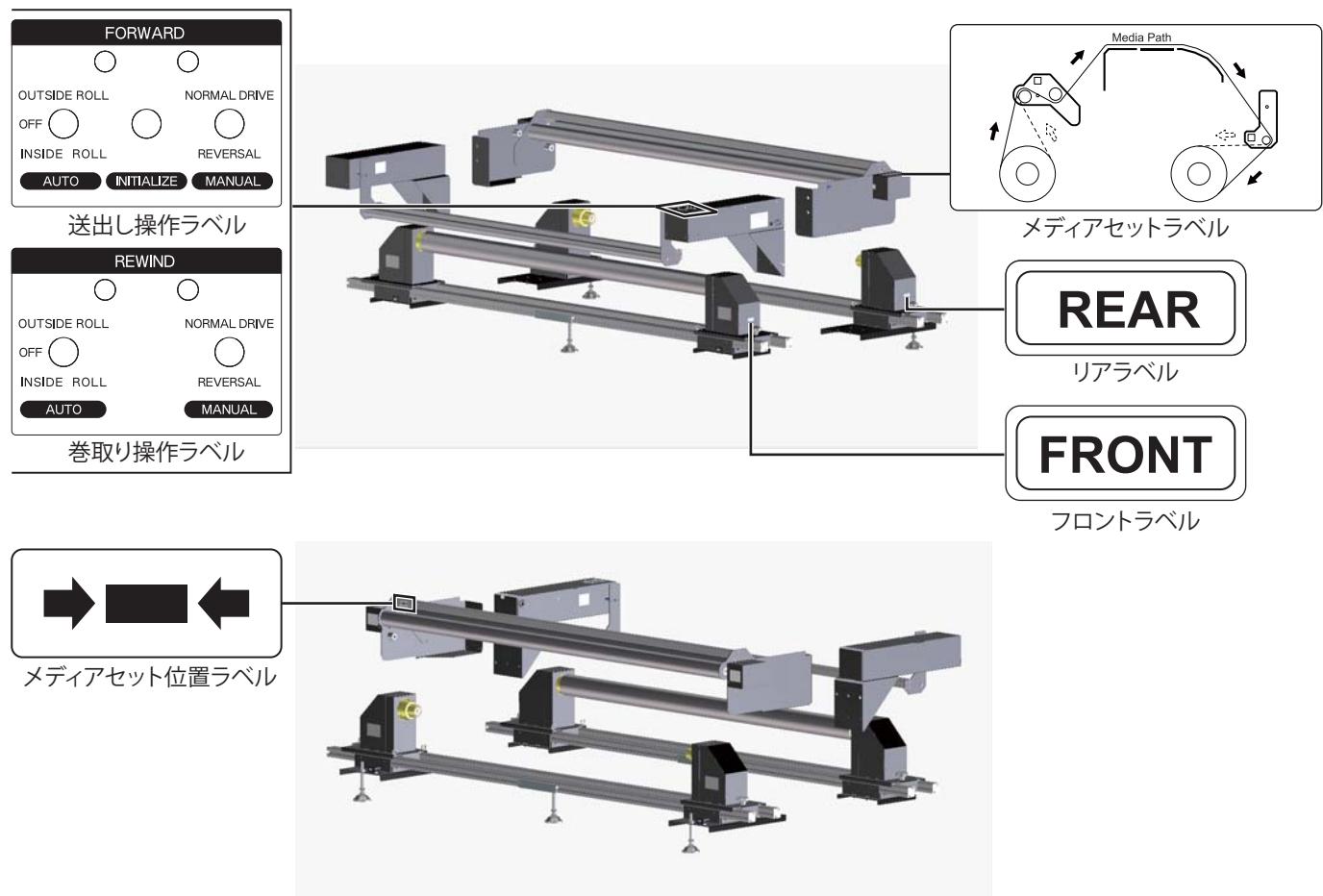
可動部注意ラベル
可動部に身体を近づけないでください。



巻きこみ注意ラベル

操作説明ラベルについて

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。



本製品の仕様

| | | |
|-----------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 型式名称 | IJ-TUP100-01 | |
| 駆動方式 | DC ギアドモーター駆動 | |
| 使用できるメディア | 最大用紙幅 | 1,625 mm |
| | 最小用紙幅 | 500 mm |
| | ロールメディア外径 | 直径 250 mm 以下 |
| | ロールメディア管 | 50.8 mm (2 inch)、 76.2 mm (3 inch) |
| | 最大ロールメディア管幅 | 1,695 mm |
| | ロールメディア重量 | 100 kg 以下 |
| メディア巻き方向 | 外巻き、内巻き | |
| 電源 | 電圧 | AC 100V ~ 240V ±10% |
| | 周波数 | 50/ 60Hz ±1Hz |
| 消費電力 | 電源オフ | 1.0 W 以下 |
| | 待機時 | 20.0 W 以下 |
| | オペレーション | 140.0 W 以下 |
| 消費電流 | 100V ~ 240V | 1.5 A 以下 |
| 環境条件 | 動作環境 | 温度：20 °C～32 °C、湿度：40%～60% 結露なきこと |
| | 精度保証環境 | 温度：22 °C～30 °C、湿度：40%～60% 結露なきこと |
| | 保存環境 | 温度：-20 °C～60 °C、湿度：40%～80% 結露なきこと |
| 外形寸法 | 高さ | 798 mm |
| | 幅 | 2,373 mm |
| | 奥行き | 1,584 mm |
| 質量 | フロント側のウェイト使用時（通常のメディアまたはクロスメディア） | 85 kg |
| | リア側のウェイト使用時（転写紙、ターポリン） | 84 kg |

Note

- 外形寸法は、本製品をプリンター・スタンドに装着し、テンションローラーにウェイトを取り付けた状態で動作させた場合の最大寸法です。

オプションリスト

| 型番 | 名称 | 販売単位 |
|-----------|------------------|------------|
| VJ-AC15SJ | AC ケーブル（日本向け） | 1 箱（1 本入り） |
| VJ-AC15SA | AC ケーブル（アメリカ向け） | 1 箱（1 本入り） |
| VJ-AC10SE | AC ケーブル（ヨーロッパ向け） | 1 箱（1 本入り） |



Note

詳細についてはお買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

☞1 お問い合わせ先

お問い合わせ先

本製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : ☎ 0120-174911

FAX : ☎ 0120-184711

E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ~ 12:00、午後 1:00 ~ 5:00

改訂履歴

| 制定年月 | 版数 | マニュアル管理番号 |
|---------|----|--------------------|
| 2020.7 | 00 | IJ-TUP100-01J-A-00 |
| 2024.7 | 01 | IJ-TUP100-01J-A-01 |
| 2025.10 | 02 | IJ-TUP100-01J-A-02 |

МИТОН